



羅臼町議会だより



しれとこ

第2回臨時議会・第3回定例議会	2~3
一般質問	4~7
議会報告会・議員研修会	8~9
高齢者のつどい・議会の動き	10

平成29年

第**154**号

11月10日



秋空のもと23年ぶりの新造船と日本丸

平成29年 第2回臨時議会

去る8月29日、平成29年第2回臨時議会が開催され、工事請負契約の締結について審議され、原案通り可決された。
※数字は万円未満四捨五入

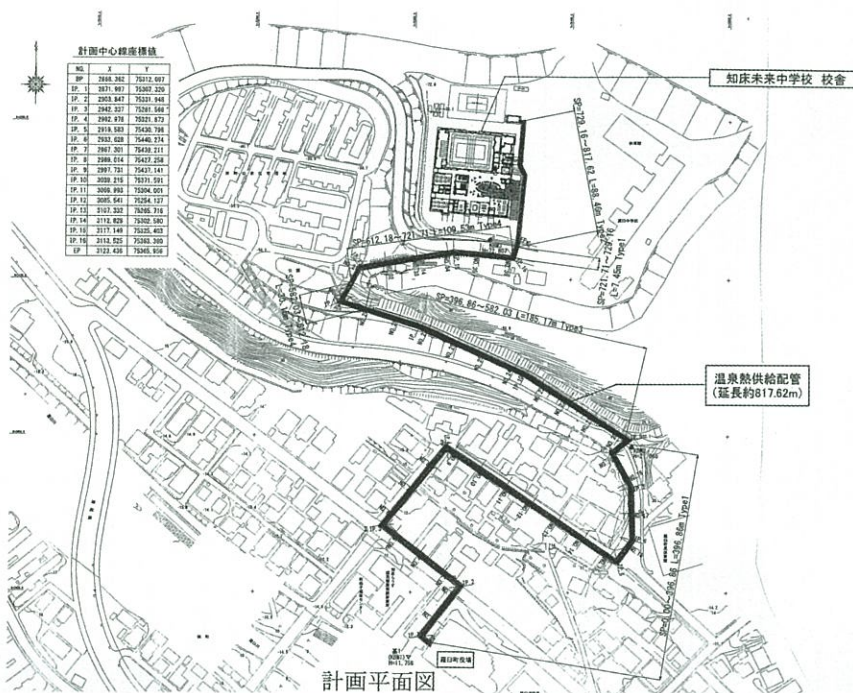
議案 工事請負契約の締結について

契約の目的	羅臼町立知床未来中学校温泉熱供給配管工事
契約の方法	指名競争入札
契約金額	金 8,748万円
契約の相手方	太平洋・小野経常建設共同企業体
	代表者：釧路市春採5丁目16番17号 太平洋設備株式会社 代表取締役 小茄子川 充
予定工期	平成29年9月1日から平成30年1月30日まで

役場庁舎から中学校校舎まで約八一七・六二mの温水供給配管を布設します。役場庁舎まで導入されている温泉熱を利用して、六十℃に熱交換された温水を

工事概要

中学校校舎まで導入し、四十五℃に変えられた温水を校舎の暖房給湯に利用するための配管工事です。



羅臼町立知床未来中学校 温泉熱供給配管工事



建設中の知床未来中学校校舎

町長の行政報告から

一、火災の発生について
八月四日、昆布乾燥小屋等三軒が全焼する火災が発生、無火災が「三一六日」でストップする。
二、北朝鮮からのミサイル発射について
八月二十九日午前五時五十八分頃、北海道地方から太平洋に通過するミサイルが発射され「緊急速報エリアメール」による注意喚起を行った。

平成29年 第3回定例議会

去る9月12日、平成29年第3回定例議会が開催され、一般質問、一般会計並びに特別会計の補正予算、契約の変更、意見書などすべて原案通り可決された。

※数字は万円未満四捨五入

議案 平成29年度 羅臼町一般会計補正予算

補正額 **878万円** 総額 **59億9,207万円**

総務費	一般寄付金による積立金	208万円
民生費	障がい者自立支援経費の精算金 放課後児童クラブに対する委託料	125万円 120万円
衛生費	水産系廃棄物処理施設の修繕料	247万円
教育費	小学校設備の修繕費	175万円

議案 平成29年度 介護保険事業特別会計補正予算

補正額 **2,691万円** 総額 **4億9,557万円**

総務費	介護給付費準備金積立金	1,346万円
諸支出金	国庫支出金返還金	1,315万円

各会計決算特別委員会の設置

9月12日に行われた第3回定例議会において、平成28年度の羅臼町決算審査を行うため各会計決算特別委員会の委員4名が選出された。



委員	副委員長	委員長	委員
佐藤 晶	坂本 志郎	田中 良	高島 譲二

付託案件

- 一般会計歳入歳出決算
- 国民健康保険事業特別会計決算
- 介護保険事業特別会計決算
- 後期高齢者医療特別会計決算
- 国民健康保険診療所特別会計決算
- 水道事業会計決算

規約の変更

- 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更
- 北海道市町村総合事務組合規約の変更
- 北海道市町村職員退職手当組合理約の変更

議員発議関係

一、林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

町長の行政報告から

- ふるさと納税の申し込み状況について
九月十日現在、三、四九四件・四、七三万円
- 青森県西目屋村との交流事業について
世界自然遺産を有する両町は三年前から交流を行っているが、今年度は西目屋村を訪問し、西目屋村の米と羅臼町の海産物をセットにした「丼」の試食会を行い、納税返礼品の共同開発などの交

報告

- 平成二十八年度決算に基づく健全化判断比率の報告
- 平成二十八年度決算に基づく資金不足比率の報告
- 鮮魚取扱高について
九月九日現在、前年度同期で数量約二、二〇〇トン、金額で約二億六千万円の減少となっている。

行政の考えを問う

4人の議員による8件の質問がなされました。

平成29年

第3回定例議会

一般質問

議員 坂本 志郎

羅臼高校の存続対策は

長 教育 羅臼高校存続問題検討協議会で検討し、町ぐるみで取り組む

坂本 志郎 議員



質問

羅臼町を含む過疎地域の人口減少・高齢化はますます進行し、若者自体の存在が貴重になっています。

羅臼高校は当町にとってたった一つの高校であり、その存続は地域の活力に大きな影響を与えることは間違いない、地域にとって大きな問題です。

高校存続対策の具体化過程に住民参加は欠かせません。住民にどの程度羅臼高校を支援する意志があるのかは、高校存続を可とする

か否とするかの重大な鍵を握っています。

この住民参加は、高校存続問題の課題解決にとって重要ですが、同時にそこに「専門的視点」と「行政的視点」を入れる必要があります。

それは意志決定の過程と同時に決定内容を公正・妥当・効率・永続可能などの点から客観的に評価してこそ、すぐれた決定になるからです。

そして課題を明確化し、初めて高校存続に向けた具体的実践がスタートします。時間はありません。高校存続問題検討協議会では、ぜひ進め方も含め検討を急ぐ必要があります。

山崎 教育長

高校存続問題検討協議会は去る五月三十一日に設立



し、羅臼漁協・商工会・観光協会・郵便局・金融各社・女性団体連絡協議会・学校関係者、さらに議会・町関係者など総勢四十名を超える人員でメンバーを構成し、会長は湊屋町長が務めています。又、北海道教育大学の二宮信一教授にも参加して頂いております。

二宮教授には「高校がなくなると羅臼町もなくなる」と「町の将来を考える」というテーマでご講演を頂き、この間、議員会・校長会において勉強会が開催されています。

行政の動きとしては、羅臼高校の実態や中学校との一貫教育の連携の状況など

を確認し、湊屋町長は北海道教育局へ高校配置計画への当町の考え方を伝えたとこです。

今後、協議会に対し、これらの報告を行うとともに協議を重ねて行きます。

又、住民周知として地域住民を対象とした後援会を計画するとともに、共同で住民集会的なものへつなげていきたいと考えています。

質問

道立羅臼高校の一学級維持が困難と判断した時、町立(町の負担)で高校を維持するののか。

湊屋 町長

一つの方向性として慎重に検討する。現状では道立の高校存続を最優先に取り組む。

坂本議員その他の質問

- 国民健康保険の都道府県化に関して
- コミュニティ・スクールの導入に関して

議員 加藤

高年齢者の運転免許証返納者に対する支援について

町長 公共交通機関のあり方を課題として取り組む

加藤 勉 議員



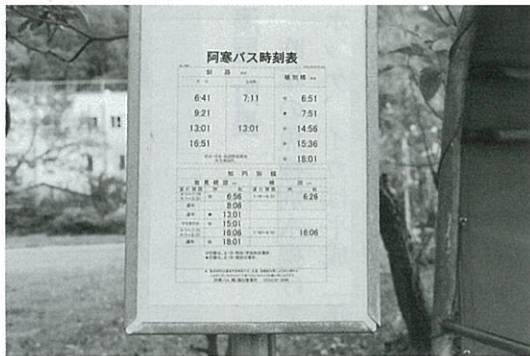
質問

道路交通法が改正され、七十五才以上の運転免許保有者への認知機能検査が強化され、免許取り消し処分者や、自主返納者が増加すると予想されている。これから運転免許証返納者に対する支援策についてお聞かせ下さい。

湊屋 町長

運転免許証の自主返納者に対する支援として、道内の自治体の中には、バスや

タクシー、ハイヤー料金の助成、商品券の交付などが行われていますが、当町は片道百円の町内巡回バスを運行し、全町民を対象に料金の助成をして支援しています。医療機関の受診や買い物などに支障をきたすこととなりますので、当町の公共交通機関のあり方について、町民全体の課題として取り組みます。



青少年の人材育成に友好（姉妹）都市を利用しては

加藤議員

様々な地域や、国との交流に努める

質問

平成二十九年度の教育行政執行方針で「未来に向けた人材の育成」としてグローバルな人材の育成を目指しています。友好（姉妹）都市と提携して、国内外との交流を通じた「グローバルな人材」を育てる考えはないのかお伺いします。

山崎 教育長

当町の国際交流事業にはESD日米教員交流プログラムによる「米国人教員団」の受入や、ユネスコ・アジア文化センターが主催する教職員招聘プログラムに幼



稚園教諭の韓国への派遣、さらに羅臼高等学校との共催による創作料理の販売を通しての交流活動等に取り組んでいる。

友好都市については、関わりが限定的になる懸念もあり、提携について考えていないが、国際社会に通用するコミュニケーション能力や異文化に寛容性を持ったグローバル人材の育成には、様々な地域や、国との交流の必要性を認識し、一層取り組んで参ります。

湊屋 町長

特定の町と友好都市を提携する考えは今の所考えていないが、色々な地域と交流を図りながら、人材の派遣や招聘を通して、グローバルな人材の育成に努めていく。



高島議員

漁業の振興について

町長 基幹産業である漁業を商工、観光など広い分野で考えていく

高島 讓二議員



湊屋町長

昨年の魚種別水揚げでは、ホッケ、イカは平成二年以降最低の取扱高であり、極めて深刻な大不振となりました。

今後、前浜の漁業資源がどうなるかは予測が付きませんが、限られた資源の適正な管理と資源増大対策として、増養殖事業、種苗放流等を積極的に支援し、資源増大対策を講じていきたい。

基盤安定のためにホタテ養殖事業を国や道の補助金等を活用しながら支援していく。

ここ数年、水揚げ量は減少し、今年の水揚げ高は、昨年同期比二億六千万円の減少となっております。基幹産業の低迷は町の経済、住民のマインド低下、さらには人口減少へと繋がりと、町政に悪い影響を及ぼすと危惧しております。我が町で安心且つ安定的に暮らすためには、基幹産業の強化対策を漁協とともにさらに強く推進する必要があります。



後継者育成については、高校生の水産教室、若手組合員等に係る勉強会を開催し、漁業者育成に取り組んでいる。

漁業の将来性については、「獲る漁業」から「育てる漁業」へ、持続性の高い漁業種への転換、増養殖の継続等、漁協と連携しながらしっかりと支援する。

また、まち全体の創意と工夫で持続可能な漁業への取り組みと安定した漁業基盤を確立する。



した。通学費は町が全額補助すべきです。

また、通学費の予算の編成権は町長の専権事項であるため、町長にも質問します。



町長に質問

昨年、同じ質問を町長にしました。予算の編成権は町長にあるため、再度お聞きします。

湊屋町長

「総合的な子育て施策」として検討を進めている

現在「管理職プロジェクト」において「総合的な子育て施策」として検討を進めている。

高島議員

通学費は町が全額補助を

長 個人的には全額補助をすべきであると思
育 います

質問

町の計画で小学校・中学校が廃校となりましたが、廃校となった地域の子供たちは、小学生は一人ひと月千五百円、中学生は一人ひと月三千円の定期代を支払って路線バスで通学をしております。

他方、根室管内または斜里町など他の地域の学校が廃校となっても子供たちは、スクールバスによる対応で通学費は無料であります。

我が町で廃校となった地域の子供たちが通学費を支払って通学することは、まことに不公平であると、これまで何度も主張してきま

宮腰議員

集中豪雨対策について

町長 状況に応じて治山や治水などの必要な措置を要望している

宮腰 實議員



質問

各種想定される自然災害がありますが、私は、中でも確率が高いと思われる豪雨災害対策についてお尋ねします。北海道に於ける一時間に五十ミリを超える豪雨の頻度は、三十年間で三、二、三倍と報じられています。

昨年の土砂崩れ改修工事の進捗状況をお知らせ下さい。

次に、河川氾濫の要因となりうる河畔林対策をお聞

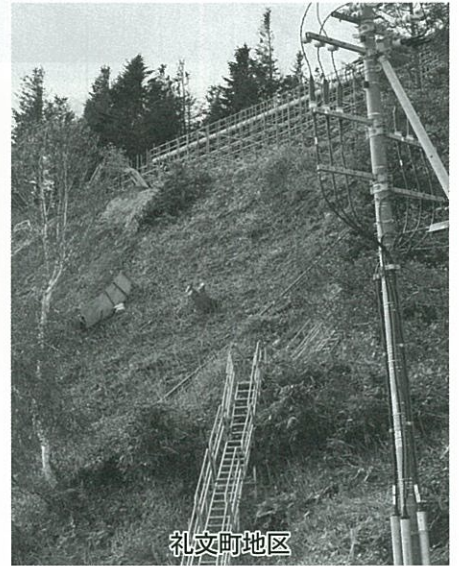
きます。羅臼の河川は、大きな落差により急流です。根の弱い河畔林が丈夫な橋に詰まったなら、濁流は国道を走ることでしょう。人目の至らない、山中の崩落等の把握状況や対策をお尋ねします。昨年の豪雨の折、羅臼川が猛烈な泥水となり、数日間続きました。落沢川上流を踏査しましたところ、大きな崩落があり、自然の大ダムが形成されておりました。同様の崩落があちこちにあるものと思われ

ますが、林野庁や河川管理者からの報告はありますか？豪雨の度に泥水が続くようであれば、サケ・マスの遡上に、また、沿岸の昆布やウニ漁にも悪影響を及ぼすことになるでしょう。河川管理者に危機感を伝えるべきだと思いますが如何でしょうか？

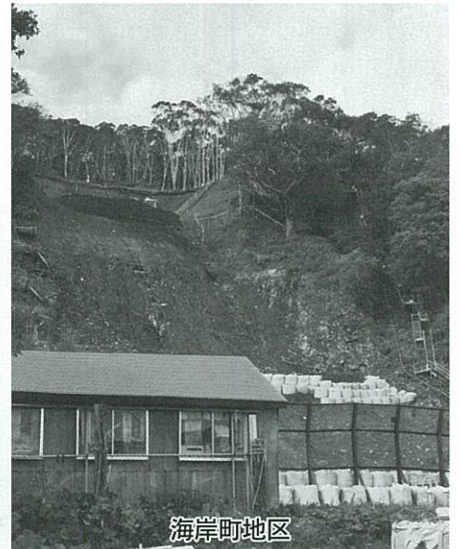
湊屋町長

昨年大雨により発生した土砂災害の復旧工事は、いずれも順調に進められており、礼文町の国道は、来年三月に、海岸町の道道は二ヶ年で、昆布浜と瀬石は今年度中の完成と報告を受けている。

河畔林に対する直接的な対策は特に講じられていないが、当町が世界自然遺産地域であることに鑑み、河畔の多様な生き物を育み川を豊かにする河畔林を、治水のために一律に伐採するという判断は行わず、必要に応じて、箇所毎に分析・評価を行い、個別に判断していく。



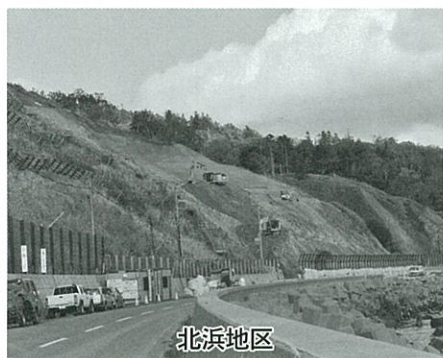
礼文町地区



海岸町地区

人目の至らない山中の崩落等の把握は、橋梁などへの立木や土砂の流入に伴う閉塞、河川の濁りなど、上流域での山中の崩落を想定させる影響が、地上から目視により確認されるもの

ほかには困難と考える。昨年の大雨時には、海上からの情報も提供して頂きながら状況把握に努め、地上から確認した情報と併せて管理者である根釧東部森林管理署に報告を行い、現地調査により、状況に応じて治山や治水などの必要な措置を要望している。



北浜地区



礼文町地区

議会報告会

去る八月二十日、羅臼町役場において町議会議員による全町民向けの議会報告会が行われた。六月の定例議会において審議された議案すべてが議題としてあがり、各議員による一般質問などに関する説明や、昨今話題となっている事項と問題を様々な角度から検証した結果の報告を行った。



これまでの議会報告会は、羅臼漁協の理事や女性部の方々、また老人会の方々など対象者を絞って行ってきた。しかし今回は、市街地区在住の方などなたでも参加できる形式にしたことにより、活発な意見の交換を行うことができた。なかでも羅臼高校の存続問題は、参加者共通の話題として大きな議論となった。



根室町村議会 議員研修会

十月十四日、別海町を会場に根室町村議会議長会主催の議員研修会が開催され、羅臼町から七名の議員が出席しました。

講演に先立ち、町議会議員として十年以上の自治功勞者に対して議長会会長より表彰状が贈られました。羅臼町からは、宮腰 實氏、高島讓二氏、田中 良氏の三名が受賞しました。講演では、別海町教育委員会文化財担当主査 戸田博史学芸員による、国指定史跡「奥行白交通遺産」駅通所・国鉄駅・村営軌道について、の歴史的背景を交えてお話を伺いました。戦前戦後にかけて、別海の開拓を果たした奥行白の文化財を後世に残すため、旧奥行白駅の復元作業が進められている現場の視察も行われました。駅通所を復元することで、文化財を活用しながら、管内が連携した「日本遺産」への登録を目指して行くべきとの提案を頂きました。



開会式で自治功勞者表彰式



講演会



当時の駅舎周辺 (ジオラマ)



大規模改修中の奥行白駅通所駅舎

議会の動き

7月

- 27日 議会だより編集特別委員会
- 31日 議会運営委員会

8月

- 1日 根室市市制60周年記念式典（根室市） 議長
- 6日 第18回羅臼町議会議長杯パークゴルフ大会 議長
- 20日 議会報告会 9名
- 21日～23日 議会広報研修会（札幌市） 2名
- 26日 故郷札幌らうす会交流会 議長
- 29日 議会運営委員会
- 29日 経済文教・総務民生合同常任委員会
- 29日 平成29年第2回臨時議会
- 30日 北方領土関係団体との要望・懇親会（根室市） 議長
- 30日 標津分屯地転入自衛隊員歓迎会（標津町） 議長

9月

- 4日～6日 トド被害対策要請活動（札幌市・東京都） 議長
- 6日 議会運営委員会
- 6日 LCC講演会（中標津町） 4名
- 7日 経済文教常任委員会
- 8日 総務民生常任委員会
- 9日 標津分屯地創立60周年記念式典 議長
- 10日 敬老会・第10回高齢者のつどい 9名
- 11日 議会運営委員会
- 12日 平成29年第3回定例議会
- 23日 漁火まつりオープニングセレモニー 議長
- 27日 議会だより編集特別委員会

10月

- 4日 決算特別委員会
- 6日 議会だより編集特別委員会
- 7日 別海駐屯地52周年記念式典 副議長
- 8日 第27回クナシリ眺望駅伝競走大会 副議長
- 11日 決算特別委員会
- 12日 決算特別委員会
- 12日 議会だより編集特別委員会
- 13日 第2回高校存続問題検討協議会 3名
- 14日 根室町村議会議長会主催議員研修会（別海町） 7名

敬老会 第10回高齢者のつどい 余興で参加

9月10日、羅臼町公民館で開催された羅臼町敬老会・第10回高齢者のつどいで、議員一同と町長・副町長・教育長による「鹿児島おはら節」に乗せて「踊り」と「腹踊り」を披露し、会場に集まった210名程の参加者から、盛大な拍手を頂きました。



編集を終えて

議会の常任委員会は、二年ごとに担当の見直しが行われます。

議会だより編集特別委員会のメンバーも、四月から変わりました。新たに坂本議員と小野議員を迎え、居残りの加藤議員と宮腰の四人体制での編集です。

「議会だより」を町民皆さんに読んで頂きたく、表紙の写真にはいつも悩みます。

先日、嬉しい情報を頂き、カメラを手に港へ駆けつけました。二十三年ぶりに刺網漁船が新造され、御披露目と餅撒きが行われると言うのですから。

秋空のもと満艦飾の新造船と日本丸を、今回の表紙に致しました。

